

# かわら版 vol.1

## 管理運営計画検討における分科会が発足!!

平成17年に新生「伊予市」が誕生してから早10年。既存施設の老朽化等に伴い、「市街地に新施設を」との要望を受け、走り始めた伊予市図書館・文化ホール等計画も市民の皆さんのご協力もあり、今年の3月に管理運営基本計画を制定しました。現在、これをもとに管理運営実施計画策定のための検討委員会を進めています。より多くの市民の声を反映させるべく、この度分科会が発足しました。

10月6日には第1回図書館・カフェ分科会が開催され、分科会メンバー計26名が集まりました。皆さんは最初に事務局から分科会での協議内容やスケジュールについての説明を受け、その後4つのグループに分かれ、「図書館内の飲食・カフェのあり方」について検討しました。新しい施設には、図書館と併設してカフェが新たに誕生します。市民の皆さんがお茶を飲みながらゆっくり本を読めたり、近所の人たちとおしゃべりしたりなど、新たな憩いのスペースとなることが期待されますが、皆さんが平等に居心地よく利用するために最低限のルールが必要です。皆さんの意見を参考に検討を進めていきたいと思



### 第1回図書館・カフェ分科会 テーマ「図書館内の飲食・カフェのあり方」 市民ご意見(抜粋)

#### 目的

- ・コミュニティスペース
- ・人を集める一つ的手段
- ・誰でも気兼ねせずに利用できるカフェ など

#### 運営主体

- ・市内の福祉団体に協力してもらう
- ・カフェもいいが、自動販売機も設置した方が良い など

#### 運営時間

- ・開館時間中は営業してほしいが、難しいかもしれない… など

#### 利用方法

- ・ペットボトルなどのふた付のものであれば基本的にどこでもOK
- ・図書の事を考えると、エリアを限定したり罰則を設けることも考えるべき など

### 今、全国にはどのような図書館ができています？



近年、公共の図書館を取巻く環境が変化していることは皆さんもご存じのことだと思います。例えば、佐賀県の「武雄市図書館(2013)」は、「TSUTAYA」でおなじみの民間企業に運営を委託することで、年中無休で開館時間を以前より長く設定したり、スターバックスコーヒーを図書館内に併設したりなど、これまでの図書館サービスの常識を覆したとされています。また長野県の『小布施町立図書館まちとしょテラス(2009)』は、館内で飲物を飲んだり(但し、ふた付のものに限る)、ワークショップをしていたり、訪れた人がお喋りを楽しんでいたりと、1つの空間で共存しています。「図書館 = 静かな空間」というイメージが変わってきているのかもしれませんが。



小布施町図書館 まちとしょテラス